

新科目「公共」の「問い」はどのように扱われているか

—新科目「公共」の趣旨から教科書の「問い」を考える—

藤 井 剛

1. はじめに

2022年度から、高等学校において新しい学習指導要領（2018年告示）（以下「新指導要領」）が学年進行で実施されている。今回の改定では、特に公民科と地理・歴史科に大きな変更があった。公民科では現代社会が廃止されて新科目「公共」が必修科目となり¹⁾、倫理と政治・経済は選択科目となった。歴史では日本史A・Bや世界史A・Bが廃止されて新科目「歴史総合」が必修科目となり、日本史探究と世界史探究が新しく選択科目に設定された。地理では地理A・Bが廃止されて新科目「地理総合」が必修科目となり、新しく地理探究が選択科目に設定された。いずれも1982年に現代社会が必修科目として登場して以来の大きな変更である。

本稿では、まず新指導要領の特徴などを概観し、新指導要領における新教科「公共」の位置を確認する。次に「公共」はどのような教科か、どのような授業展開が求められているかを明らかにしたあと、新指導要領が求めている授業展開などが、教科書にどのように反映されているかを検討したい。具体的には、新指導要領が求めている新科目「公共」の大項目Bの内容と教科書記述の検討を通して、新指導要領が学校現場にどの程度定着するかを考察したい。

2. 新指導要領の特徴

まず、新指導要領の特徴を何点か挙げておきたい。

第一に、中央教育審議会の議論では「将来、大人になって活用できないような知識は無駄である」という趣旨の議論がなされていた。そのため新指導要領の3本柱に「何ができるようになるか（＝新しい時代に必要となる資質・能力の育成）」²⁾が据えられたことに留意したい。つまり「教科書の太字の語句が重要だ」という授業から、「この基礎知識を使ってこのようなことが出来るようになる」ことが授業目標となったのである。

第二に、外部資源（人材）の活用が求められたことである。教員にも分野別に不得手な分野があるだろうし、それ以上に専門家の知見などを活用することは、生徒の理解を深めるためにも、また生徒の興味・関心を高めるためにも大きな意味がある。例えば労働法の分野では弁護士が、消費者教育の分野では消費者センターの専門家が授業を行なうことは、新科目「公共」が目標とする「現実の課題」を追究するだけでなく、キャリア教育の面も持つことが期待される。



図1 何ができるようになるのか

第三に、「どのように学ぶか（＝主体的・対話的で深い学び）」が大きな柱の一つとして挙げられたことである。この点については、少し詳しく3点取り上げたい。

1点目は、これまでの学習指導要領（以下「指導要領」）で習得方法（授業メソッド）が示されることはなかったが、今回の指導要領改訂で初めて踏み込んだことである³⁾。この「初めて」に注意が必要であり、これまでの「チョーク&トーク」型の授業からの脱却が目指されている点である。改訂された『学習指導要領解説 公民編』（以下、「解説」）は、改訂前の解説の2.5倍ほど厚くなり、大項目Aでは「囚人のジレンマ」や「共有地の悲劇」など具体的な思考実験の例が、大項目Bでは『『少子高齢社会における財政の在り方』を主題とし、問いを設定した学習』活動の例が、大項目Cでは探究学習の手順が示されたあと「探究活動の展開例『少子高齢化に伴う人口減少問題』を扱った事例」が具体的に例示されている。これら授業例の提示は、若い先生方が近年増えてきたことに対して教育メソッドなどの継承を図るという面もあるが、学校現場にこれまでの「チョーク&トーク」型授業からの脱却を強く求めているシグナルと受け取れる。また、「主体的・対話的で深い学び」を授業に取り入れるためには、授業時間の確保が課題となる。そのためにカリキュラム・マネジメントが提言されたことも理解できるはずである。

2点目は、「何ができるようになるか（新しい時代に必要となる資質・能力の育成）」と「どのように学ぶか（＝主体的・対話的で深い学び）」の関係である。この2つの関係では「主体的・対話的で深い学び」を通して、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」という3つの資質・能力を育

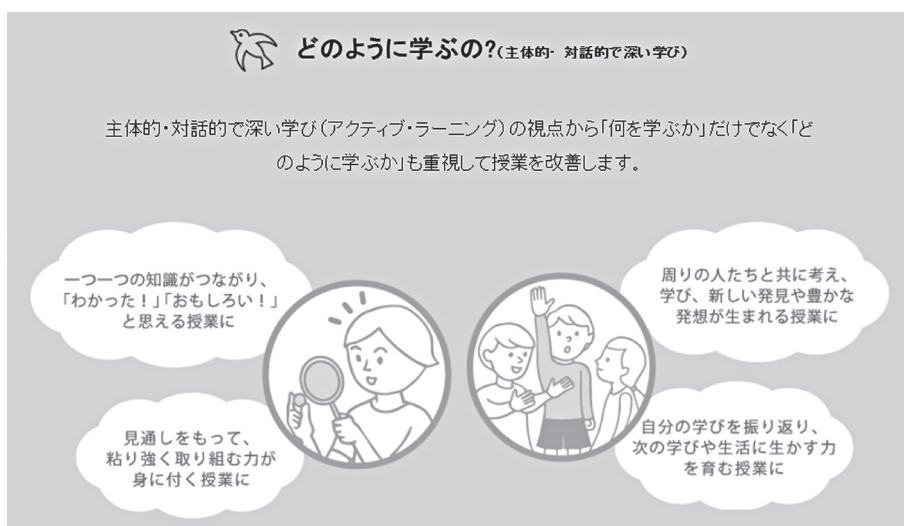


図2 どのように学ぶか

成することが学びの方向性として示されていることに注意したい。「主体的」とは「自分ごととして」であり、「対話的」とは「生徒同士、教職員や地域の人、先哲の考え方などを等して」であることは容易に分かるが、問題は「深い学び」である。「深い学び」とは「習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた『見方・考え方』を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすること」（波線は筆者が付した）⁴⁾と定義されている。「見方・考え方」を働かせながら「知識を相互に関連付け」とは、例えば、需要供給曲線概念と外国為替市場概念を結びつけて「日本の市中銀行の金利が0.1%、アメリカの市中銀行の金利が5%のとき、円高になるか円安になるか」を考えさせ、「なぜ円安になるのか」を説明させたりすることである。また「情報を精査して」とは、例えば、フェイクニュースを与えて情報の真偽を考えさせたり、5月3日の三大紙の社説を比較させたりして、ここから何を学んだかを発表させるなどの活動を通してメディアリテラシーを確立させることである。さらに「問題を見いだし」たり「創造したり」するとは、「公共」の大項目Cで行なう課題追究学習そのものとなる。ここで重要なことは「現実の生活に応用できる」テーマを取り上げることである。

「何ができるようになるか」とは、学校で学んだことが日常生活で役立つようになることであり、新科目「公共」が現実の諸問題に対する「問い」を追究する科目として設定されたことは、それらの点を強調していることになる。

3点目は、アクティブ・ラーニングとは「身体を動かす」ことではないことである。「教員が死刑制度の是非の資料について25分講義を行ない、その資料をもとにグループで15分間討論させ、その討論の結果を10分間クラスで共有する授業」は、(グループ討論があるので)形だけは「アクティブ」に見えるが、教員から教わったことを使って話し合いをするだけで「探究」がない。このような形式だけの「アクティブ・ラーニング」が実践されたり提案されてきたため、文部科学省(以下、「文科省」)は「アクティブ・ラーニング」を「主体的・対話的で深い学び」と名称変更した経緯がある。その意味で「話し合い」「調べ学習」などだけでなく、前述した日米金利差から円・ドルレートを考えるような「頭を動かす『よい』発問」なども「主体的・対話的で深い学び」に含まれることに留意したい。

3. 新指導要領を定着させるために

「主体的・対話的で深い学び」ひとつとっても、新指導要領は学校現場にとっては大きな変革を促している。これまで、特に高等学校においては「チョーク&トーク」型授業が主流だっただけに、教員は授業スタイルを根本から変えることが求められている。過去の学習指導要領改訂のたびに授業改革が求められてきたが、これまで高校教員は「大学入試が『知識偏重』である限り、『教え込み』の授業は必要である」「教科書が終わらないと、保護者からクレームがくる」などの理由で、授業スタイルの変更をほとんど行なってこなかった。そのため文科省などはセンターテストから共通テストへと、テストそのものを全面的に変更した。センターテストの主目的は、大学入学志願者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定すること(大学合否判定の判断材料)とされていたが、共通テストは、知識を活用しながら思考力や判断力を発揮して解くような問題が必要であるとの判断によって導入された。具体的には、これまでの「知識を測るテスト」から、さまざまな資料を読み込んだ上で考えて解くような問題(一般的に「思考問題」と呼ばれている)を多く出題し、センター試験よりも思考力・判断力・表現力を問うテストへの移行が試みられている。その目的は、共通テストの「思考力・判断力・表現力」が必要となる問題を解く力を養う授業を高等学校に求めることにある。その意味で、高校側の「大学入試が変わらない以上、詰め込み教育は必要」というロジックを封じ込めることが目的となっている。さらに共通テストにおける「思考力・判断力・表現力」を必要とする出題の比重を高めるために、公民科のテストの組み合わせは「公共、倫理」「公共、政治・経済」となっており、「見方・考え方」などを利用して現実の諸課題を探究させようとする新科目「公共」が必ず含まれていることにも留意が必要である。

4. 新科目「公共」の位置付け

新指導要領の中で、「公共」がどのように位置付けられているかについても何点か留意が必要である。

第一に、新科目「公共」の目標にある「資質・能力の育成」は、高等学校公民科の学習だけで行なうのではなく、小・中学校教育と高校教育を接続し、児童生徒の発達に応じた教育を積み重ねることによって可能になるという視点である。具体的に小・中・高の新指導要領では、社会的な「見方・考え方」が各校種全てに記述されており、特に中学校公民的分野では「社会的現象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論)に着目して捉え」て、「現代社会の見方・考え方」を働かせることが示されている。この「見方・考え方」の働かせ方は、新科目「公共」で求められているものとほぼ同じである。

第二に、小学校や中学校の学習内容との接続である。「『公共』では憲法学習が大幅に減っている」と

いう声も聞かれるが、「公共」の学習内容から考える授業の時間配分では、日本国憲法の逐条的な解説を行なう授業時間がとれないことは明らかである。そのため、直近の中学校3年生後半の公民的分野で学ぶ「憲法の知識や理解」を前提として⁵⁾、それらの知識や理解を利用して課題探究や解決を行なうこととなっている⁶⁾。

5. 新科目「公共」の授業づくりの留意点

「公共」の授業づくりについては2点留意が必要である。

第一に「公共」の目標は、「人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を・・・育成する」⁷⁾こととされている。その要点は

- ①社会的な「見方・考え方」を働かせること
- ②現実社会の課題を追究したり解決したりする活動を通して学ぶこと
- ③公民としての資質・能力を育成すること

である。ここでは「授業づくり」に重点を置き「学び方」に関する上記①と②に絞って考察すると、新科目「公共」では、適切な現実の課題を設定し、その課題追究のための枠組みとなる「見方・考え方」を身に付けさせ、課題を追究したり解決したりして学ぶことが求められていることを確認したい。

第二に、大項目A「公共の扉」で選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、公共的な空間における基本原理を「見方・考え方」として習得したうえで、大項目B「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」で大項目Aで身に付けた「見方・考え方」を活用して法、政治、経済の課題学習（テーマ学習）を行い、さらに大項目C「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」で探究学習を行なうように構成されていることである。さらに大項目は、A→B→Cの順番で学ぶこととされており、「見方・考え方」の「習得→活用→探究」という一連の学習過程が示されていることに留意が必要である。

6. 新科目「公共」の授業づくり

上記5で示したように、「公共」の授業づくりの要点は、適切な課題を設定し、「見方・考え方」を使って課題を追究したり解決したりする授業を構成することである。

- (1) どのような「見方・考え方」を使うのか⁸⁾

公民科における「見方・考え方」とはどのようなものなのだろうか。ここでは「公共」の大項目Aの(1)(2)(3)に示されている「社会的な見方・考え方」を、現実の授業に合わせて大きく二つに類型化したい。

- ア 社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を捉える視点や方法（考え方）
- イ よりよい社会の構築に向けて課題の解決のために選択・判断するための視点や方法（考え方）

アは、現代社会を捉える理論や概念である。例えば「夏と冬のトマトの値段の差」を考えるときに「需要と供給」の概念を持っていれば解決できることを指している。イは、社会の課題解決について選択・判断する基準である。例えば、「ドイツ航空法（ハイジャックされた旅客機を撃墜してもよい）」違憲判決を題材に、功利主義（「幸福・正義・公正」でもよい）の観点や人間の尊厳という判断基準から議論し考察を深めさせることができる視点や方法である。当然、新科目「公共」が求めている「選択・判断の基準」は、上記イに重点が置かれている。

また理論や概念、選択・判断基準の具体例として、「人間と社会の在り方を考える視点」として「幸福、

正義、公正、個人の尊厳、自由、平等、寛容、委任、希少性、利便性と安全性、多様性と共通性」などが、「公共的な空間に見られる課題の解決を構想する視点」として「幸福、正義、公正、協働関係の共時性と通時性、比較衡量、相互承認、適正な手続、民主主義、自由・権利と責任・義務、平等、財源の確保と配分、平和、持続可能」などが挙げられている⁹⁾。

この点について、大項目Aで習得する内容にも関わることであるが、どの「理論・概念」「選択・判断基準」を用いて課題を追究・解決させるのか、授業者が明確に意識する必要がある。

(2) どのような「課題」を設定するのか

「どのような『課題』を設定するのか」については、新指導要領解説（以下「解説」）は、再三にわたって「具体的な『問い』を設け主題を追究したり解決したりするための題材（テーマ）」を求めている。要点は「問い」の設定である。解説は項目ごとに詳細な具体例を挙げている。例えば法の分野では「なぜ契約自由の原則には例外が存在するのか」、政治分野では「なぜ議会を通して意思決定を行う必要があるのか」、経済分野では「消費税と所得税はどちらがより公平な税か」などが挙げられている。これまでの現代社会や政治・経済の授業では、例えば間接民主制の意義を授業で取り上げてきたが、生徒の興味・関心は「なぜ議会を通して決定しなくてはならないか」「議会の意思と民意には乖離がないのか」などの疑問であったはずである。このように、生徒の素直な疑問（＝「問い」）を取り上げて行くことが求められていることに留意したい。

そしてどのような「問い」を立てるかによって、生徒の現実社会の課題追究への意欲は変化する。具体的には、年度当初（または学期初めなど）に教科書の目次を生徒に概観させ、教科書の授業項目で「知りたいこと（＝疑問に思っていること）」を提出させて、その疑問（＝「問い」）を中心に授業を組み立てることも考えられるだろう。

(3) 大項目Bの授業づくり

これ以降本稿では、大項目Bの教科書記述を検討するため、大項目Bの授業をどのように作るのかまとめた。前述したように大項目Bのテーマは「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」である。大項目Aで身に付けた「見方・考え方」や基本原理などを活用して、授業者が設定した法、政治、経済分野の13の課題（テーマ）¹⁰⁾に沿った「問い」を提示して生徒がその課題を追究・解決することとなっている¹¹⁾。以上が大項目Bにおける授業づくりの要点である。

7. 教科書の検討

ここで大項目Bの教科書記述を検討したい。大項目Bは「公共」の学習内容の約半分を占めており、また身近な「問い（課題）」を設定して、大項目Aで身に付けた「見方・考え方」や基本原理を利用して問いや課題を追究したり解決したりする学習を行なうことが求められていること、さらに大項目Bで身に付けた学び方を利用して大項目Cの課題探究学習を行なうことから、新科目「公共」の中心部分と考えるからである。このような位置づけを占める大項目Bが、各社の教科書にどのように取り上げられているか（反映されているか）検討していきたい。

検討した教科書は、検定を合格し配給されている8社12種類の教科書である。大項目Bの13課題（テーマ）が、それぞれの教科書でどのように取り上げているか一覧表にしたものが、次ページからの表1¹²⁾である。まず、13課題（テーマ）に対応した特集ページがなかったり「問い」そのものを立てていない教科書があることが見て取れる。また、特集ページや「問い」があったとしても、大項目Bが求めているような生徒に追究させたり解決させたりする活動を求めず、解説や説明を行なっている教科書も多い。表1のあと、表2でさらに検討したい。

表 1 大項目Bの13課題(テーマ)に対応した各教科書の「問い」

	13テーマ	法や規範の意義及び役割	多様な契約及び消費者の権利と責任	司法参加の意義	政治参加と公正な世論の形成、地方自治	国家主権、領土(領海、領空を含む。)	我が国の安全保障と防衛
公共701 13テーマに対応した「問い」を設定している。	メインの問い	法は私たちの生活にどのような役割を果たしているのか？	現代の市民生活における私法の役割と意義は何か？	国民が司法に参加するうえで考えるべきことは何か？	民意を反映した政治を実現するには？	国際社会の課題を解決するためにどのようなルールが必要か？	国際社会の平和と安全を実現するためには？
	メインの問い	観光地での食べ歩きは法規範をどう考えるか？	転売仲介サイトで不正なチケットを購入してしまつたらどうすべきか？	あなたが裁判員になったら死刑判決を下すことができるか？	国民投票は民意をどう反映できるか？	漁業資源の国際的な管理をどのように進めるべきか？	核兵器の削減が進まないのはなぜだろうか？
	サブの問い	①観光地での食べ歩きの法規範は「危険原理」で正当化できるか？ ②観光地での食べ歩きは「法」ではなく「道徳」の問題ではないのか？	①買主は「契約」を取り消すことはできるか？ ②チケット転売仲介サイトの「責任」を問えないのか？	①犯した罪に対してどのような罰を科せば「正義」に合うか？ ②現在の刑事司法制度は、無罪の不処罰を実現できているか？	①民意を反映できる「多数決」の方法は？ ②「議論」をへない国民投票は何をもたらすか？	①漁業規制の「公平なルール」とはどのようなものか？ ②各国漁業者の「自発的な協力」を促す方策は何か？	①核軍備を妨げる「安全保障」のジレンマとは？ ②国際社会において「相互理解」を進めるためには？
公共702 13テーマに対応したメインの「問い」を2つ程度置いている。	メインの問い	①「忘れられる権利」は認められるべきか？ ②男女平等は法で実現できるか？	①なぜ未成年者は自由に契約できないのか？ ②消費者はどのように保護されているのか？	①刑事裁判と民事裁判の違いは何だろうか？ ②なぜ疑わしいときは被告人の利益とすべきか？	①日本の若者の投票率はなぜ低いのか？ ②「国民投票」は本当にベストな方法か？	①国家なき民族、クルド人は独立国家を目指すべきか？ ②紛争解決のために国際法は有効なのか？	①憲法9条と日本の防衛をどう両立させるのか？ ②「平和」と「安全保障」はどう違うのだろうか？
	その他の問い	正義とは何だろうか？	ルールは何のためにあるのだろうか？				なぜ戦争はなくなるのか？ 国は何のためにあるのか？
	13テーマに対応した「Seminar」の問い	「法の意義と役割・法Seminar①」 私たちは社会生活を営んでいるために、世のなかにはさまざまなルールが存在している。それらのルールは、社会のなかでどのような役割を果たしているのだろうか。 ☆「公共704」の「法の意義と役割・ナビ④」とほぼ同じ文や説明である。	「契約に関するルール・法Seminar④」 現代社会における契約は、自由で平等な個人の意思により結ばれることを前提としている。私たちが契約を結ぶとき、どのような点に留意すればよいのだろうか。 ☆「実教／公共704」の「刑事裁判と裁判員制度・ナビ③」とほぼ同じ文や説明である。	「刑事裁判と裁判員制度・法Seminar③」 司法への理解と信頼を高めるため、刑事裁判に市民が参加する裁判員制度がおこなわれるようになった。現在の裁判員制度には、どのような課題があるのだろうか。 ☆「実教／公共704」の「刑事裁判と裁判員制度・ナビ③」とほぼ同じ文や説明である。	「政治への参加一選挙一Seminar⑥」 選挙は投票するに当たり、やるべきこと、何を何知、どのような政党や候補者を選ぶべきだろうか。 ☆「実教／公共704」の「政治への参加一選挙一・ナビ⑤」と同じ資料を利用している。 「地域社会の課題と取り組み・Seminar③」 少子高齢化による人口減少や多文化社会、災害への対応など日本の地域社会の現状は楽観を許さない。地域社会の問題にどのように取り組むべきだろうか。	テーマに対応するSeminar等は見つからない。	「神護の基地問題・Seminar②」 現在も沖縄には在日米軍の専用施設、区域が集中している。沖縄と米軍基地をめぐる歴史を踏まえたうえで、日本の安全保障のあり方について考えてみよう。 ☆「実教／公共704」の「神護の基地問題・時事NOTE①」と同じ資料、ほぼ同じ会話を利用している。
公共704 13テーマに対応した「Active」や「ナビ」を設けている。	13テーマに対応した「Active」や「ナビ」の問い	「法の意義と役割・ナビ④」 私たちは社会生活を営んでいるために、世のなかにはさまざまなルールが存在している。それらのルールは、社会のなかでどのような役割を果たしているのだろうか。 ☆「公共703」の「法の意義と役割・Seminar①」とほぼ同じ文や説明である。	「契約を学ぶ・ナビ③」 契約は、どのようにして成立するのでしょ。契約によって、どんな責任が生じるのでしょうか。	「刑事裁判と裁判員制度・ナビ③」 刑事裁判はどのようにおこなわれるのでしょうか。裁判員になったら、何をどのようにするのでしょうか。 ☆「実教／公共703」の「刑事裁判と裁判員制度・Seminar③」とほぼ同じ文や説明である。	「政治への参加一選挙一・ナビ⑤」 選挙は投票するに当たり、やるべきこと、何を何知、どのような政党や候補者を選ぶべきだろうか。 ☆「実教／公共703」の「政治への参加一選挙一・Seminar①」と同じ資料を利用している。	テーマに対応するナビ等は見つからない。	「神護の基地問題・時事NOTE①」 現在も沖縄には在日米軍の専用施設、区域が集中している。沖縄の歴史を知り、神護の基地問題を考えてみよう。 ☆「実教／公共703」の「神護の基地問題・Seminar②」と同じ資料、ほぼ同じ会話を利用している。
	13テーマに対応した「公共File」	「公共File②」法の意義と役割(一「問い」)になっている	「公共File②」消費者の権利と責任(一「問い」)になっている	「公共File⑤」刑罰・更生と死刑制度一裁判員裁判に向かう前に(一「問い」)になっている	「公共File⑥」選挙に行こう！(一「問い」)になっている	「公共File⑥」国際連合の主要機関と課題(一「問い」)になっている	該当する「公共File」は見つからない。
	13テーマに対応した「Activity」	「ACTIVITY③」私たちが生活する社会のルールはどのような役割を果たしているのだろうか。	「ACTIVITY④」事業者と契約を結ぶうえで、私たちは消費者としてのどのようなことに注意しなければならないのでしょうか。	「ACTIVITY⑤」裁判員裁判に私たちが関わること何が変わるのでしょうか。	「ACTIVITY⑥」主権者として私たちの意思を政治に反映させるにはどうしたらいいか。	「ACTIVITY⑦」地球市民となる日があるのだろうか？	「ACTIVITY⑧」平和を維持するためにどのような選択をしなければならないのでしょうか。
公共705 13テーマに対応した「Active」や「ナビ」を設けている。	13テーマに対応した「Active」や「ナビ」の問い	①海外のある国・地域で大流行の病をみせている感染症は日本国内で拡大するのを防ぐために、どのような対策をとらなければならないのでしょうか。 ②国内にある程度感染が広がってしまつて、早期発見と重症者の治療に重点が置かれます。患者や症状がある人には、どのような対応がとられるべきでしょうか。	①契約にはどのようなものがあるのでしょうか。自分の身の回り、または自分自身が当事者である契約を展覧して見よう。 ②契約を破ると、どうなるのでしょうか。また、いったん結んだ契約をやめることは、できるのでしょうか。 ③憲法裁判による若者の被害がマスコミなどでよく問題になります。どのような対応がとられているのでしょうか。私たちは、被害に遭わないために、どのような注意が必要でしょうか。	①なぜ裁判員裁判がはじまったのでしょうか。 ②国民が関わること司法参加のしくみ、日本の「裁判員制度」はどのようなものか。 ③法律知識がなくとも「裁判員」ができるか？	①私たちの暮らしの周り、街のよい点、悪い点(課題や「こうして欲しい」と感じている点)などを探してみよう。 ②私たちの暮らしの思いや願いを政治に反映させる方法には、どのようなものがあるのでしょうか。 ③課題の解決にはどのような方法があるのでしょうか。資料3から読み取ろう。	①地球は誰のもの？ ②領土問題は解決できるのでしょうか？	①日本国憲法第9条が日本にあつた影響を考ましよう。 ②南朝鮮は戦力国なのでしょうか。 ③日本の安全保障のすゝみはどのようなものか。
	13テーマに対応した「課題」が置かれ、メインの問いのあとに考える手帳が「ステップ」でまとめられている。	同性婚は法的に認められるべきか？	入学を辞退したら、入学金や授業料は返還されるか？	死刑制度は続けるべきか？	政権には、どのような政党の組合わせが望ましいか？	内戦状態の国に国際社会は介入すべきか？	
	考える手帳等「Step」などで示す。	①同性婚は法的に認められているか？ ②同性婚に対するさまざまな意見	①入学金や授業料は返還されるか？ ②同性婚に対するさまざまな意見	①死刑制度の現状 ②死刑制度に対するさまざまな意見	①日本の政権と政党の現状把握 ②海外の事例 ③政権のあり方に対するさまざまな意見	①内政不干渉の原則か、人道的介入、「保護する責任」か ②過去の事例から考える。	
公共706 大項目Bの13テーマに対応した「Think」や「Try」を設けている。	13テーマに対応した「Think」の問い	「THINKING TIME③」法の意義と役割(一「問い」)になっている	「THINKING TIME④」契約について考えよう(一「問い」)になっている	「THINKING TIME⑤」司法参加の意義(一「問い」)になっている	「THINKING TIME⑥」政治にかかわるのか(一「問い」)になっている	「THINKING TIME⑦」神護の基地問題(一「問い」)になっている	「THINKING TIME⑧」安全保障と防衛(一「問い」)になっている
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think Time③」法を学ぶ・ナビ③	「Think Time④」契約を学ぶ・ナビ③	「Think Time⑤」裁判員裁判に私たちが関わること何が変わるのでしょうか。	「Think Time⑥」選挙に行こう！	「Think Time⑦」地球市民となる日があるのだろうか？	「Think Time⑧」平和を維持するためにどのような選択をしなければならないのでしょうか。
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think Time③」法の意義と役割(一「問い」)になっている	「Think Time④」契約について考えよう(一「問い」)になっている	「Think Time⑤」司法参加の意義(一「問い」)になっている	「Think Time⑥」政治にかかわるのか(一「問い」)になっている	「Think Time⑦」神護の基地問題(一「問い」)になっている	「Think Time⑧」安全保障と防衛(一「問い」)になっている
公共707 大項目Bの13テーマに対応した「Think」や「Try」を設けている。	13テーマに対応した「Think」の問い	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法	「Link」自動運転と法
公共708 大項目Bの13テーマに対応した「Think」や「Try」を設けている。	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
公共709 大項目Bの13テーマに対応した「Think」や「Try」を設けている。	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
公共710 大項目Bの13テーマに対応した「Think」や「Try」を設けている。	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
公共711 大項目Bの13テーマに対応した「Think」や「Try」を設けている。	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
公共712 大項目Bの13テーマに対応した「Think」や「Try」を設けている。	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法
	13テーマに対応した「Think」の問い	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法	「Think」自動運転と法

国際貢献を含む国際社会における我が国の役割	職業選択	雇用と労働問題	財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化	市場経済の機能と限界	金融の働き	経済のグローバル化と相互依存関係の深まり
国際社会における責任ある行動とは「何か」？	これからの時代の職業選択をどのように考えればよいだろうか？	望ましい労働環境を実現するために必要な取り組みは何か？	「持続可能な財政」を実現するためにどうするか？	公正で自由な経済活動のために政府の役割はどうあるべきか？	金融はどのような役割をになっているのだろうか？	経済のグローバル化は現代社会にどのような影響をもたらしたか？
人権保護のための武力介入をどう考えるか？	技術革新が進まない、何を大切にして職業生活を送るべきか？	「過労死」をなくするためにどのような取り組みが必要か？	財政の課題を解決するために必要なことは何か？	タクシー事業にとってどのような市場規制が望ましいか？	起業家は資金提供者へどのような情報を発信すべきだろうか？	グローバル経済の新たな課題とは何か？
①く保護する責任は認められるべきか？ ②く正義のための武力行使は認められるべきか？	①く自己実現のために求められる字ひとは？ ②ライフステージにあわせてワーク・ライフ・バランスとは？	①法律によるさらなる規制強化が必要か？ ②事業所・働く人のく自発的取り組みとして何が必要か？	①く歳出の削減を行なうことは可能か？ ②く歳入の増加のためには、何が必要か？ ③小学校・中学校に給食は必要か？ ④安定した「年金暮らし」は可能か？	①く安全性・安定性>を提供するためにはタクシー事業への規制を強化すべきか？ ②く利用者>の利便性>向上のためにはタクシー事業への規制を緩和すべきか？	①起業する際の事業に持続可能性>や社会的意義はあるか？ ②くリスクとリターン>の関係を示せるか？	①「プラットフォーム」に対する課税のく国際的なルールをどのように定めるか？ ②「プラットフォーム」の進出に対してく公正な競争環境>を確保できるか？
①憲法前文から考える国際社会の中の日本 ②SDGsと私たちの生活はどう関係しているのだろうか？	①AIの進化は仕事をどう変えるのか？ ②都会で働くか地方で働くか？	メンバースhip型か、ジョブ型か？	①財政支出削減のため水道を民営化すべきか？ ②格差是正のために課税すべきか？ ③小学校・中学校に給食は必要か？ ④安定した「年金暮らし」は可能か？	①コンサートチケットの不正転売は防げるか？ ②あなたの街に「民泊」は必要か？	①投資家にとっての「よい企業」とは【前編】 ②投資家にとっての「よい企業」とは【後編】	①私たちに出来る「最善」は何か？ ②コマは「国産」にこだわるべきか？
見知らぬ国の人を助けるべきか？	賃金はあなたの価値なのか？	お金の価値とは何だろうか？	自分が年老いたとき、誰が世話をしてくれるだろうか？	物の値段はどうやって決まるのだろうか？	なぜ人は寄付やボランティアをするのだろうか？	
【SDGsの実現に向けて・Active④】 「私たち自身も協働して行動することが求められるSDGs。さまざまな課題に対して、どのような行動をとっていくことが、地球の未来につながるのだろうか？」 ☆「英数／公共704」の【SDGsの実現に向けて・Active④】と似た資料を利用している。	【技術革新と私たちの働き方・Seminar④】 「私たち自身も協働して行動することが求められるSDGs。さまざまな課題に対して、どのような行動をとっていくことが、地球の未来につながるのだろうか？」 ☆「英数／公共704」の【SDGsの実現に向けて・Active④】と似た資料を利用している。	【ジョブ型とメンバースhip型雇用・Seminar④】 「私たち自身も協働して行動することが求められるSDGs。さまざまな課題に対して、どのような行動をとっていくことが、地球の未来につながるのだろうか？」 ☆「英数／公共704」の【SDGsの実現に向けて・Active④】と似た資料を利用している。	【年金制度を考える・Seminar④】 日本の年金制度は社会保障による試練方式が基本となっているが、高齢化により持続可能性が問われている。今後の年金制度はどのような形が望ましいだろうか？ 【少子高齢社会の社会保障はどうあるべきか・Active④】 日本の社会保障は、現役世代の負担による高齢者向けの制度を中心としてきた。少子高齢化が進むなか、どのような社会保障制度が求められているのだろうか？	【需要曲線と供給曲線って何？・Q&A④】 （－「問」） 需要と供給は、図形でどう表現されるだろうか。需要曲線、供給曲線の背後には何があるだろうか。どんな場合に、需要曲線・供給曲線は変化するだろうか。	【起業に必要なことは？・Seminar④】 （－「問」） 起業家にとっての「よい企業」とは【前編】 ②投資家にとっての「よい企業」とは【後編】	【自由貿易をめぐる課題・Seminar④】 自由貿易は各国に利益をもたらすが、現実には自由貿易に反対し、制限をかけるようとする動きもある。自由貿易はどのような問題点があるだろうか？
【SDGsの実現に向けて・Active④】 平和で安全・安心な社会の実現は、国際政治の安定と世界経済の発展にもつながっていく。持続可能な世界を実現するための方策を、SDGsから考えてみよう。 ☆「英数／公共703」の【SDGsの実現に向けて・Active④】と似た資料を利用している。	【望ましい働き方を実現するために・Active④】 働き方にも多様性が求められている現在、社会に出た時にどのような働き方をしたいだろうか。望ましい仕事と生活のバランスについて話し合ってみよう。	【こんなときどうする？ー労働問題ーナビ④】 働く者の権利はどのように保障されているのでしょうか？また、もしトラブルに巻き込まれたらどうすればよいでしょうか？	【これからの福祉社会を考える・Active④】 少子高齢社会にある日本では、社会保障の充実が求められている。対象範囲や財源なども含めて、安定的な社会保障について話し合ってみよう。 【安心して暮らせる豊かな社会をめざして・Active④】 これまでの経済に関する学習を、豊かさの観点から振り返ってみよう。みんなが安心して暮らせる豊かな社会のために必要なものは何だろうか？	【需要曲線・供給曲線って何？・なるほど！Q&A④】 （－「問」） 経済活動は、金銭の影響を受ける。日本銀行は、どのように金利を調整しているのだろうか。（－「問」）のようだが解説になっている）	【東アジア・東南アジアの経済成長の背景はなんだろうか？】 ①日本の産業や貿易、生活の変化は？ ②グローバル化がもたらす社会の変化はどのようなものだろうか？	テーマに対応するナビ等は見つからない。
【公共File④】難民問題一例から考える（－「問」）になっている）	【公共File④】職業選択とライフコース（－「問」）になっている）	該当する「公共File」はない。	該当する「公共File」はない。	【公共File④】需要曲線・供給曲線（－「問」）になっている）	【公共File④】もしも会社をつくるなら（－「問」）になっている）	テーマに対応する「公共File」は見つからない。
【ACTIVITY④】世界の人がとが幸せになるために何が必要でしようか？	【ACTIVITY④】世の中にはどのような仕事があるでしょうか。はたらくことにはどのような意義があるでしょうか？	【ACTIVITY④】労働条件を決める労働契約には、「契約自由の原則」があるでしょうか？	【ACTIVITY④】租税や社会保障から、のぞましい政府や社会のあり方を考えよう。	【ACTIVITY④】市場メカニズムと市場の失敗を考えてみよう。	【ACTIVITY④】起業するための資金をどのようにしたら調達できるのでしょうか？	【ACTIVITY④】経済のグローバル化や自由貿易の進展によって、社会のあり方はどう変わるのでしょうか？
①どのようなゴール（目標）を目指すか ②日本には何が求められているのでしょうか？ ③外国への援助は是非か	①産業や職業はどのように変化するのでしょうか？ ②情報通信技術の発達によって、新たにどのような産業や職業が誕生するのでしょうか？ ③新しい仕事をつくる、という発想	①求人票から「雇用」に関する情報、自分の「労働条件」などを読み取りましょう。 ②会社と自分が結ぶ労働契約について、労働条件などを自由に決められるのでしょうか？ ③本来自由に結べるはずの「契約」を、なぜ国は法律という強制力で規制するのでしょうか？	①租税や社会保障料を確認しよう。 ②国民負担率の推移を確認し、国際比較をしよう。 ③日本の財政のあり方を考えよう。	①価格の変化は何を意味するのだろうか？ ②市場メカニズムで解決できない問題は何か？ ③「市場の失敗」に対応する方法を考察しよう。	①社会ではどのようにお金が循環しているのでしょうか？ ②さまざまな金融機関があり、それぞれが果たしている役割は？ ③起業のために資金を調達する方法として、どのような方法があるのでしょうか？ ④金融機関以外から資金を調達できるのでしょうか？	【東アジア・東南アジアの経済成長の背景はなんだろうか？】 ①日本の産業や貿易、生活の変化は？ ②グローバル化がもたらす社会の変化はどのようなものだろうか？
SDGsのどの目標を優先して協力・支援すべきか？	これからの社会、働くならどのような形態か？		1. 消費税率を引き上げるべきか？ 2. どのような年金制度が望ましいか？	図書館の運営を民間に任せるときの課題は？	キャッシュレス社会に向けての課題は？	国内工場の海外移転にどう対応するか？
①持続可能な開発目標（SDGs） ②SDGsの達成状況から見る課題	①多様化する働き方 ②あなたが働きたい形態は？		1. ①日本の財政の現状はどうなっている？ ②日本の公的年金の財政は？ ③公的年金制度に対するさまざまな意見	①日本における図書館の現状 ②消費税率に任せておいてもいいものか（－「問」）のようだが解説になっている）	①日本におけるキャッシュレス決済の現状 ②キャッシュレス社会を目指すことに関するさまざまな意見	①さまざまな意見を見てみよう ②工場への移転にどう対応するか？
Thinking Time④ 倫理的消費を通じた日本の国際貢献（－「問」）になっている）	Thinking Time④ 待安について考えよう（－「問」）になっている）	Thinking Time④ 誰が働ける社会を目指して（－「問」）になっている）	Thinking Time④ 持続可能な社会保障のために（－「問」）になっている）	Thinking Time④ 需要曲線と供給曲線（－「問」）になっている）	Thinking Time④ 金銭はどのような役割を担っているのか（－「問」）のようだが解説になっている）	Thinking Time④ 日本企業とSDGs（－「問」）になっている）
Thinking Time⑤ エシカル消費を通じた日本の貢献策（－「問」）になっている）	Thinking Time⑤ 自分と社会との関係（－「問」）のようだが解説になっている）	Thinking Time⑤ 誰が働ける社会とは？（－「問」）のようだが解説になっている）	Thinking Time⑤ 持続可能な社会保障のために（－「問」）になっている）	Thinking Time⑤ 需要曲線と供給曲線（－「問」）になっている）	Thinking Time⑤ 金銭はどのような役割を担っているのか（－「問」）のようだが解説になっている）	Thinking Time⑤ 日本企業とSDGs（－「問」）になっている）
「私たちが未来へ」国際平和を築くために 国際社会に平和を築くためには、どうしたらよいだろうか？ 「幸福・正義・公正」から考えよう。	【Link】会社をつくる ☆会社組織や運営方法などを考える指し示はあるが、他のテーマのような「問」はない。	「私たちが未来へ」安心して働くための労働環境とは？ 労働者と企業のそれぞれが望む働き方に対して、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、どうしたらよいだろうか？ 「幸福・正義・公正」から考えよう。	「私たちが未来へ」持続可能な社会保障制度とは？ 持続可能な社会保障制度について、選択・判断の心がかりとなる二つの考え方を比べて考えよう。	【Link】資源の希少性とは？ ☆限られた資源を効率的に使うことを考える指し示はあるが、他のテーマのような「問」はない。	【Link】金融商品とキャッシュレス化 ☆どのような金融商品とサービスがあるかを考える指し示はあるが、他のテーマのような「問」はない。	「私たちが未来へ」日本の貿易のあり方を考える 日本の貿易政策を、選択・判断の心がかりとなる二つの考え方を比べて考えよう。
幸福・正義・公正	特に示されていない。	幸福・正義・公正	幸福・正義・公正	特に示されていない。	特に示されていない。	幸福・正義・公正
「私たちが未来へ」国際平和のために日本は何かができるだろうか？ 国際平和の維持に、次の考えを参考にしながら、日本や私たちにできることを考えよう。	【Think&Try】ビジネスプランを成功させるには、まずビジネスプランをしっかりと考えることが重要になる。ビジネスプランを考えた時、ビジネスプランが確立していれば対応しやすくなる。ここではこれまで学習した自己分析や未来図もあわせて、ビジネスプランを考えてみよう。	【Think&Try】女性の労働 男女共同参画社会の実現のために、女性の労働環境についてまず何を考えよう？ ビジネスプランを考えた時、ビジネスプランが確立していれば対応しやすくなる。ここではこれまで学習した自己分析や未来図もあわせて、ビジネスプランを考えてみよう。	【Think&Try】持続可能な財政にするためには？ これからの財政はどうあるべきか、次の考えを参考にしながら、持続可能な財政を実現しよう。	「私たちが未来へ」持続可能な社会保障制度とは？ 持続可能な社会保障制度について、選択・判断の心がかりとなる二つの考え方を比べて考えよう。	【Think&Try】金銭の動き 金銭はどのような役割を担っているのか（－「問」）のようだが解説になっている）	「私たちが未来へ」国際社会における貿易のあり方を考える 日本の貿易政策を、選択・判断の心がかりとなる二つの考え方を比べて考えよう。
幸福・正義・公正	特に示されていない。	人間の尊厳と平等、個人の尊重	幸福・正義・公正	特に示されていない。	特に示されていない。	幸福・正義・公正
【特集】MDGs／SDGs（－「問」）になっている）	【経済セミナー】仕事について考えよう（－「問」）のようだが解説になっている）	【特集】租税と財政健全化（－「問」）になっている）	【特集】租税と財政健全化（－「問」）になっている）	【経済セミナー】需要曲線と供給曲線（－「問」）になっている）	【特集】株式って何？（－「問」）のようだが解説になっている）	【特集】EUの現在（－「問」）になっている）

表2 大項目Bの課題1「法や規範の意義及び役割」に対応した各教科書の「問い」

公共701 13テーマに対応した「問い」を設定している。	(単元の)問い	法は私たちの生活にどのように関わるのか？ 観光地での食べ歩きの実規制をどう考えるか？	公共708 大項目Bの13テーマに対応した「THINKING TIME」がある。 <u>ただし「問い」形式になっていても会話文などで「二項対立」が示されているだけで、考察させるまで付けない。</u>	13テーマに対応した「THINKING TIME」の問い	THINKING TIME⑨ 法の意義と役割 (←「問い」になっていない)
	サブの問い	①観光地での食べ歩きの実規制は「危険原理」で正当化できるか？ ②観光地での食べ歩きは「法」ではなく「道徳」の問題ではないのか？			
公共702 13テーマに対応したメインの「問い」を2つ程度置いている。	メインの問い	①「忘れられる権利」は認められるべきか？ ②男女平等は法で実現できるか？	公共709 大項目Bの13テーマに対応した「Thinking Time」がある。 <u>ただし「問い」形式になっていても「考えてみよう」どの問いかけがあるだけで、考察させるまで付けない。</u>	13テーマに対応した「Thinking Time」の問い	Thinking Time09 身近な法律を解釈してみよう (←「問い」になっていない)
	その他の問い	正義とは何だろうか？			
公共703 <u>13テーマに対応したSeminarやActiveなどがある。ただし、「問い」はあるが解説になっている。</u>	13テーマに対応した「Seminar」の問い	〔法の意義と役割・法Seminar①〕 私たちが社会生活を営んでいくために、世のなかにはさまざまなルールが存在している。それらのルールは、社会のなかでどのような役割を果たしているだろうか。 ☆「公共704」の〔法の意義と役割・ナビ④〕とほぼ同じ文や説明である。	公共710 13テーマに対応した「Link」や「私たちから未来へ」などが置かれ、「Link」には「見方・考え方」が示されているものもある。13テーマに最も近いと考えるものを取り上げた。	13テーマに対応した「Link」や「私たちから未来へ」のテーマと「問い」	[Link] 自動車運転と法 自動走行車が起した事故について、選択・判断の手がかりとなる二つの考え方から考えよう。
公共704 <u>13テーマに対応したActiveやナビがあるが、問いはあるが生徒の会話文だったり解説になっている。</u>	13テーマに対応した「Active」やナビ、時事NOTEの問い	〔法の意義と役割・ナビ④〕 私たちの回りにはいろいろな法やルールがある。それらは社会生活のなかで、どのような役割があるのだろうか。 ☆「公共703」の〔法の意義と役割・Seminar①〕とほぼ同じ文や説明である。	公共711 13テーマに対応した「Think&Try」が複数用意されている。 <u>「スキル」や「私たちから未来へ」もテーマに対応しているように見えるが説明に重点が置かれているので、ここでは「Think</u>	13テーマに対応した「Think&Try」のテーマと「問い」	示されている「見方・考え方」
公共705 <u>13テーマに対応した「公共File」はあるが説明がほとんどである。</u>	13テーマに対応した「公共File」	〔公共File⑦〕法の意義と役割 (←「問い」になっていない)	公共712 大項目Bの13テーマに対応した「問い」は設定されておらず、13テーマに最も近いと考えられる「特集」などを取り上げた。 <u>ただし「説明」になっている。</u>	13テーマに最も近いと考える「特集」など	幸福、正義、公正
公共706 13テーマに対応した「Activity」が置かれ、それぞれメインの問いのあとにサブの問いと、問いを考察する際に必要な資料等が配置されている。	13テーマに対応した「Activity」にあるメインの問い	〔ACTIVITY③〕私たちがしたがうべき社会的ルールはどのような役割を果たしているのでしょうか。	公共712 大項目Bの13テーマに対応した「問い」は設定されておらず、13テーマに最も近いと考えられる「特集」などを取り上げた。 <u>ただし「説明」になっている。</u>	13テーマに最も近いと考える「特集」など	[Think&Try] ごみ置き場のルールをつくろう 学校や地域など、身近な社会でもルールを決めなければならない場面がよくある。図④の場合、どのようなルールをつくればよいか考えよう。
	サブの問い	①海外のある国・地域で大流行の兆しをみせている感染症が日本国内で拡大するのを防ぐために、どのような措置をとったらよいかについて考えてみましょう。 ②国内にある程度感染が広がってしまうと、水際対策よりむしろ、早期発見と重傷者の治療に重点が置かれます。患者や症状がある人には、どのような対応がなされるべきでしょうか。			
公共707 13テーマに対応した「諸課題」が置かれ、メインの問いのあとに考える手順が「ステップ」としてまとめられている。	13テーマに対応した「諸課題」にあるメインの問い	同性婚は法的に認められるべきか？	公共712 大項目Bの13テーマに対応した「問い」は設定されておらず、13テーマに最も近いと考えられる「特集」などを取り上げた。 <u>ただし「説明」になっている。</u>	13テーマに最も近いと考える「特集」など	テーマに対応する「特集」は見つからない。
	考える手順等を「ステップ」などで示す。	①同性婚は法的に認められているか？ ②同性婚に対するさまざまな意見			

表2は、大項目Bの最初の課題である「法や規範の意義及び役割」に対応した各教科書の特集などを表示したものである。ただし、字数がつきてきたので分析は最小限にとどめたい。他の12課題(テーマ)については教科書等を手元に置き、さらに比較していただきたい。

表2から読み取れることを列挙したい。課題に対応した特集ページがなかったり「問い」そのものを立てていない教科書がある。また該当の教科書記述を検討すると、「問い」があったとしても資料等を示さずに答えさせようとしていたり、二項対立の会話を讀ませて資料を与えずに意見を答えさせようとしていたり、スモールステップの問いが必要なのに段階を踏んだ「問い」がない教科書がある。また、「問い」があっても一方的な解説や説明に終始している教科書が多く、外部人材の利用もほとんどの教科書があげていなかった。さらに「中学までの基礎的知識を利用して、大項目Aで身に付けた見方・考え方や基本原理を使って、『問い』を立てて現代社会の課題などを追究したり解決しようとする」という、大項目Bが示している学びの手順に沿った配列をしている教科書は数種類のみであった。反面、前指導要領の現代社会の教科書記述と内容等がほとんど同じで、各節の冒頭に数行「問い」を記載しているのみ教科書が半数近くを占めていた¹³⁾。その意味で、このように現代社会とあまり変わらない教科書が供給され続けると、これまで同様の「チョーク&トーク」で用語解説ばかりを行なう知識偏重型の授業から「主体的・対話的で深い学び」へ教育メソッドを変えることにならない危惧がある。

8. おわりに

以上のように、課題(テーマ)に対応した特集ページがなかったり「問い」そのものを立てていない教科書がある反面、大項目Bの趣旨に沿った教科書もあり、新科目「公共」初回の教科書は「千差万別(＝バラバラ)」のものとなっている¹⁴⁾。ただし、13課題(テーマ)に対応した特集ページを設定する必要はないため、注12に記述したように「問い」が各節の冒頭に何点か示してあれば教科書検定そのものは通過してしまう。しかし、そのような「問い」の示し方では「現実の課題を設定し、追究・解決活動を行なう」という大項目Bの趣旨に反する。その意味で各教科書会社は、大項目Bの趣旨に沿った教科書供給を通して、学校現場に新指導要領が定着するような教科書を作成して、供給することを目指してもらいたい¹⁵⁾。

最後に、これまで大項目Bの13課題(テーマ)に対応した特集ページを検討している先行研究は見つからなかった。この比較検討をもとに、学校現場では大項目Bの趣旨に沿った教科書採択が進むことを期待したい。

1) 学習指導要領上、現代社会は「廃止」と明記されておらず「設置しないこととする」と表記されているが、現実的には「廃止」と同じと考えられる。いずれにせよ、1982年以来、約40年間設定されていた科目を振り返りもせずに廃止したことには批判も多い。

2) 図1、図2の出典は文部科学省HP https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm#section5 (最終確認2022年12月24日)

3) これまでの指導要領は「教科の目標は何か」「そのために何を学ぶか」などは示されてきた。例えば、前指導要領は「生きる力」を身に付けさせるために「基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成」を目指し、「言語活動、理数教育、伝統や文化に関する教育、道徳教育、体験活動の充実」を図ることは示していた。しかし、「どのように学ぶか(＝教えるか)」は教員の裁量の範囲であり、特に触れてはいなかった。本文にも書いたように、団塊の世代が大量退職して、経験則に左右されやすい教育メソッドをどのように継承するかという視点から記載されたと指摘されることもあるが、「ラーニングピラミッド」に示されるように、教育方法を変えて教育効果を高める狙いがあるとの指摘も多い。

4) 国立教育政策研究所HP https://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pdf_seika/r02/r020603-01.pdf (最終確認2022年12月24日)

5) 「公共」の指導要領は、「人間の尊厳と平等、個人の尊重、法の支配、自由・権利と責任・義務」などの憲法的な基本原理を大項目Aで学ぶこと、さらにそれらの原理を使って大項目Bの課題を追究したり解決する活動を行なう建て付けとなっており、憲法の知識や理解が「前提」となっている。

- 6) 現実的には、中学校で既習の憲法的知識などを、所属する高校の生徒の実情に応じて「復習」することはあり得ると考えている。
- 7) 『学習指導要領解説 公民編』(文部科学省 東京書籍 2019 年) 29 ページ
- 8) この項目(1)の趣旨は、『「公共」の授業を創る』(橋本康弘編著 明治図書 2018 年)によっている。
- 9) 出典は「高等学校公民科公共『(社会的な見方・考え方として)考えられる視点例』(「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策について(答申)」(中教審第197号別添資料3-5)。
- 10) 指導要領には13テーマとして、(1)主として法に関わる事項として、法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義、(2)主として政治に関わる事項として、政治参加と公正な世論の形成・地方自治、国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割、(3)主として経済に関わる事項として、職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)があげられている。ただし、13テーマ以上を授業者が設定することは可能である。
- 11) 大項目Bは課題などを授業者が設定したり示したりするが、大項目Cは課題そのものや「問い」を生徒自らが設定する点が異なっている。
- 12) 図表については、本来9ポイントで示さなくてはならないのだが、分量の関係でポイントが小さくなったことをお詫びしたい。また、データそのものはお渡しできるのでご連絡いただきたい。さらに、この分類等は筆者の判断によるものであり他の分類もあり得ることもお断りしておきたい。予断を持たれないように「出版社名」は伏せ、教科書番号だけで示した。また「8社12種類」の意味は、4社の出版社が「2種類」の教科書を出版しているためである。筆者による分類で課題(テーマ)に対応した「問い」などが無い教科書会社にはメールで問い合わせを行なった。
- ①問い合わせをしなかったもの：701、702、706
 - ②問い合わせをしたが回答がなかったもの：704、708、709、711
 - ③「お待ち下さい」との回答が来たが、その後連絡がこなかったもの：712
 - ④回答があったもの：703、705、707、710
- 上記②と③については、13課題(テーマ)に対応した記述がないか筆者の判断で分類した。④については、回答を反映して分類した。ただし、回答が『「問い」は、各節の冒頭にあります』のように特集化されていないものは「特集にはない」などと分類してある。
- 13) 筆者もある教科書を執筆している。新指導要領の趣旨に沿った「問い」を中心とした教科書を執筆し始めたところ、営業サイドから「先生、学校現場にヒアリングをしてきましたが、高校の先生方はそのような教科書を望んでいません。もう少し旧来型の教科書に寄った教科書にして下さい。」と言われて驚いたことがある。
- 14) 1982年、全く新しい科目として「現代社会」が導入された。初めての教科書検定を経て供給された教科書は、(あたりまえだが)各社全く違う内容(バラバラ)だった。そのため、「どの教科書を採択するか」で授業内容や授業方法が異なる現象が起きた。しかしそれも、センターテストに現代社会が導入されて教科書が標準化されていったため幕が下りた経緯がある。
- 15) 注12で問い合わせをし、回答を頂いたある教科書会社の編集者から「学習指導要領の・・・に対応する・・・特設ページの設定が難しかったです。色々考えて『現代社会の見方・考え方』としておりますが、『公共』の『見方・考え方』は、中学校公民科の分野よりも具体的でなく、『現代社会』よりも曖昧になった気がします。『公共』の普及はこれからですね。頑張ります。」という手紙を頂いた。今後の教科書会社の努力に期待したい。